

# I 神奈川県における底魚一本釣漁具漁法

八重山地区水産業改良普及員 玉城正雄

## 1. 研修先

神奈川県三浦市三崎町

三崎小釣漁業研究会

## 2. 研修者所属及び氏名

石垣漁協双葉振興会 比嘉 肇

石垣漁協あかつき会 兼次 政勝

” 裁吉 川

与那国漁業協同組合 小島 寿和

## 3. 研修年月日

昭和48年7月7日～7月15日（9日間）

## 4. 内容

三崎小釣漁業研究会の所属船は95隻からなり三崎漁協九郎衛門丸（7.7トン）を最高に大部分は5トン未満船である。

対象漁業はムツ、メダイ等の底魚釣とイカを主力とし、イナダ、ワラサの曳縄釣、サバ、イサキ等のピン釣を副業としている。

本年度の漁は比較的恵まれた年であったが東京湾々口部のヘドロ問題、遊漁船問題、漁業者の老令化等、小釣漁業を取りまく環境は悪く前途多難である。

### ロ 三崎小釣漁業研究会との懇談会

(1) 開催月日 昭和48年7月11日

(2) 開催場所 神奈川県水試会議室

(3) 出席者

三崎小釣漁業研究会々長 外7名

神奈川県水試漁具漁法科長 外2名

” 専門技術員 吉谷 清